

# 介助犬の現状と 身体障害者補助犬法



きむら よしとも  
**木村佳友** 1960年大阪に生まれる。半導体製造会社勤務（コンピュータ・プログラマ）。日本介助犬アカデミー理事。財団法人プラザ・コム評議委員。関西学院大学非常勤講師。厚生労働省・介助犬の訓練基準に関する検討会委員、介助犬及び聴導犬の認定基準等に関する検討会委員、介助犬訓練者研修カリキュラム検討会委員、兵庫県・介助犬認定基準等検討委員会委員。著書に『介助犬シンシア』（毎日新聞社）、『介助犬を知る』（名大出版）。

シンシアが介助犬となつた七年前には全くと言つていいほど、介助犬の存在は知られておらず、スーパーやレストランなどを利用しようにも、ペット扱いされ同伴拒否が続き、シンシアと一緒に出かけることが苦痛だつた。これでは、何のための介助犬か分からぬ。ある時、こんなことがあつた。

シンシア同伴でレストランに入ると、いつもの様に困った顔の店員に出迎えられた。

「介助犬です。きちんと訓練されているので、迷惑をかけることはありません。予防接種など健康管理もきちんとしていります」と伝ええた。しかし「ペットは禁止です。店長と相談します」と言つたきり

店長は、シンシアの乗車が認められるまでは、数ヵ月を要したが、この経過はマスコミで報道され、毎日新聞では「介助犬シンシア」と題する連載も始まつた。

その後しだいに、介助犬に関する講演依頼が入る様になり、協力してくれるボランティ

アも増えた。最初は、年に二〇件程度の講演依頼だったが、一〇〇件を超えるまでになつた。ボランティアから始まつた優しい心の輪が徐々に広がり、宝塚市を動かし、兵庫県を動かしている間、シンシアは車椅子の側で静かに待つて、食事を終えて帰ろうとした時、店長が笑みを浮かべて話しかけてきた。

「賢いワンちゃんですね。聞き分けのないお子さんより、ずっと大人しいですね。こんなに、お利口な介助犬なら、これからも一緒に来てくださいね」と言われた。このことをきっかけに、「介助犬がきちんと訓練されており、他の人に迷惑をかけないこと」などを実際に見てもらうことが重要だと実感した。

当時も介助犬に関する情報がほとんど無

く、公的に認められていない介助犬をどのように受け入れれば良いのか分からぬ施設が多かつたのだ。

鉄道会社ともシンシア同伴の乗車について交渉した。シンシア同伴の乗車が認められるまでに、数ヵ月を要したが、この経過はマス

一〇分以上も戻つてこない。ようやく戻つて

します」と

言つたきり

ますか？」は、今号をもちまして終わらせていただきます。木村さん、シンシア共々ますますのご活躍を、

辅助犬が、より受け入れられる社会になるように、

微力ながら「働く広場」を通して応援していきたいと

思います。

【編集部から】

三回にわたりました、エッセイ「介助犬を知っていますか？」は、今号をもちまして終わらせていただきます。木村さん、シンシア共々ますますのご活躍を、

辅助犬が、より受け入れられる社会になるように、微力ながら「働く広場」を通して応援していきたいと



きた店員の顔を見て「また、ダメか！」と思つたが、迷惑そうに「今日は特別です」と思われ、席に案内された。洪々でも、受け入れられればラッキーである。当然であるが、食事をしている間、シンシアは車椅子の側で静かに待つて、食事を終えて帰ろうとした時、店長が笑みを浮かべて話しかけてきた。

お子さんより、ずっと大人しいですね。こんなに、お利口な介助犬なら、これからも一緒に来てくださいね」と言われた。このことをきっかけに、「介助犬がきちんと訓練されており、他の人に迷惑をかけないこと」などを実際に見てもらうことが重要だと実感した。

当時も介助犬に関する情報がほとんど無

く、公的に認められていない介助犬をどのように受け入れれば良いのか分からぬ施設が多かつたのだ。

鉄道会社ともシンシア同伴の乗車について交渉した。シンシア同伴の乗車が認められるまでに、数ヵ月を要したが、この経過はマス

一〇分以上も戻つてこない。ようやく戻つて

します」と

言つたきり

ますか？」は、今号をもちまして終わらせていただき

ます。木村さん、シンシア共々ますますのご活躍を、

辅助犬が、より受け入れられる社会になるように、

微力ながら「働く広場」を通して応援していきたいと

思います。

【編集部から】

三回にわたりました、エッセイ「介助犬を知っていますか？」は、今号をもちまして終わらせていただきます。木村さん、シンシア共々ますますのご活躍を、

辅助犬が、より受け入れられる社会になるように、

微力ながら「働く広場」を通して応援していきたいと

思います。

【編集部から】

三回にわたりました、エッセイ「介助犬を知っていますか？」は、今号をもちまして終わらせていただき

ます。木村さん、シンシア共々ますますのご活躍を、

辅助犬が、より受け入れられる社会になるように、